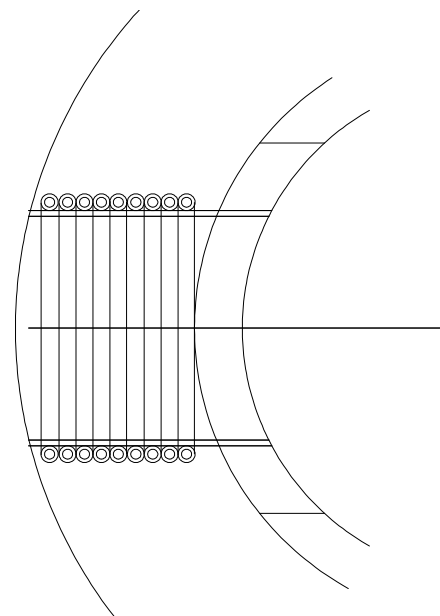


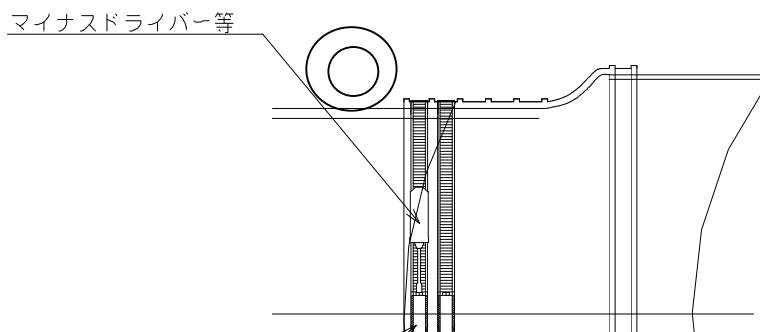
TTJ施工手順解説 (ケーシング内取付の場合)

防護発泡樹脂 (バックアップ材) を円形につなげ、人孔内部からはめていきます。人孔の外壁くらいのところまで入れてください。

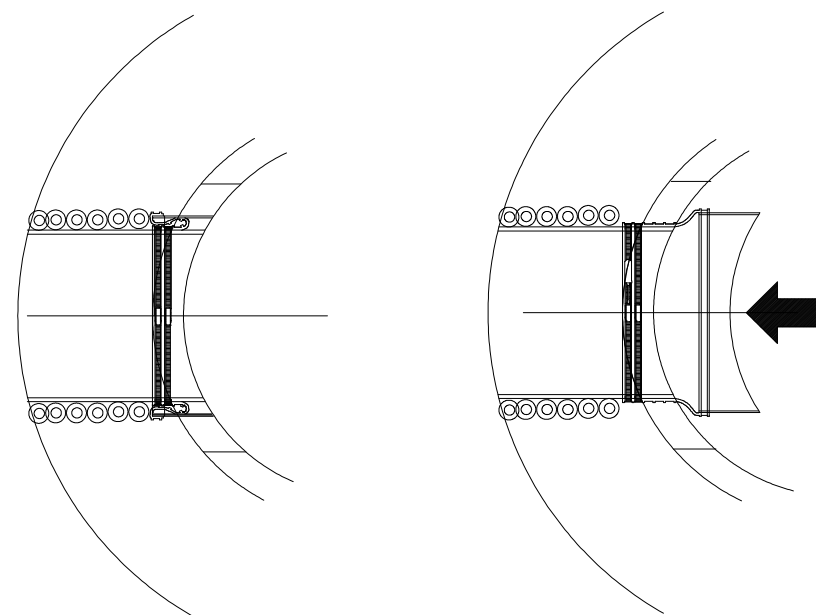


管外周はケレン・清掃を十分に行い、ゴムを取り付ける箇所には凹凸がないようにしてください。

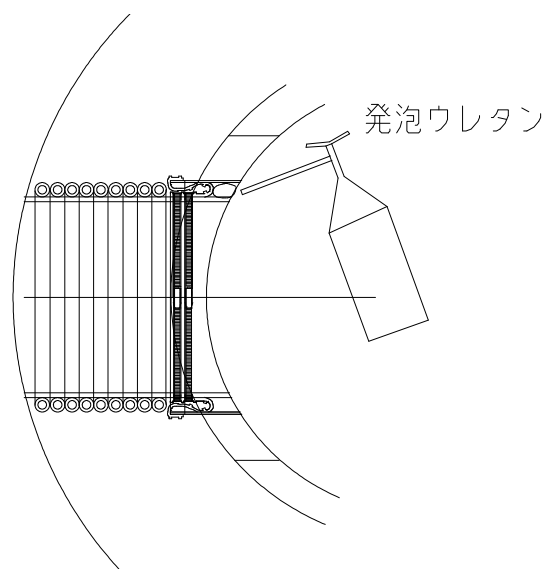
人孔の内部よりTTJ (継手) のチューブゴム先端を人孔の外壁に合わせます。位置が決まったらバンドの溝に滑材 (洗剤等でも結構です) を塗っておき、バンドが均等に締付けられるようにします。塗り終わったら、バンドを溝にかけ六角ソケットレンチ (7mm) がマイナスドライバーでバンドがゴムに食い込むくらいまで締付けます。



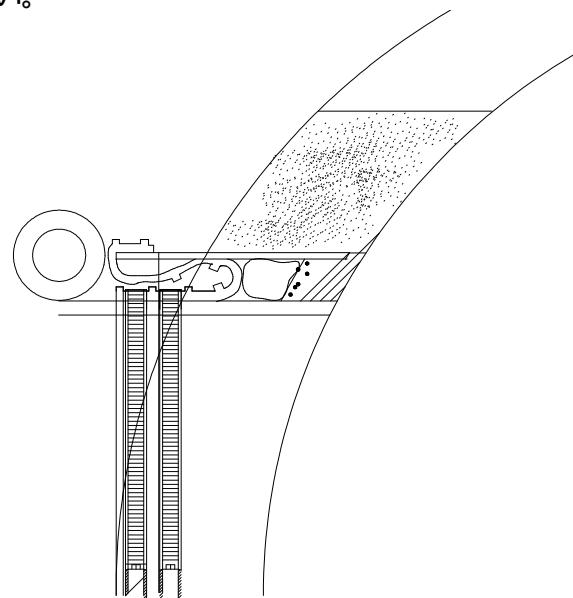
継手を鋼製スリーブが人孔内面にくるまで押し込む。尚、仕上げしろを取る場合は更に押し込み調節します。



押し込んだ後管外面と鋼製スリーブの間に発泡ウレタンを注入する。発泡ウレタンは膨張した後、硬化しますのでみ出した部分はカッター等で切断してください。



削孔とTTJの間をモルタル等で固定します。管口の仕上げは鋼製スリーブを含めモルタル上塗り仕上げを行います。その場合、鋼製スリーブを人孔壁の外側 (地山側) に押し込み、仕上げしろを取ってください。



帝国ヒューム管東日本株式会社

上記はあくまで人孔内でしか取り付けが出来ない場合です。

取付説明ご確認サイン